

全国学力・学習状況調査における課題と改善の方向について

平成30年度全国学力・学習状況調査は「各地域における児童生徒の学力・学習状況を捉えること」と「全国的な状況との関係において、自らの教育やその方法の成果と課題を捉え、授業改善を図ること」を目的に、小学6年児童を対象に、平成30年4月17日、全国一斉に行われました。

このたび、本校における結果分析がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。

<調査の内容>

①教科に関する調査（国語・算数・理科）

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり常に活用できるようにしていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

②生活習慣や学習環境に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【国語】

主として「知識」に関する問題（A）

- 「話すこと・聞くこと」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」「言語事項」の領域は全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域は全国平均を下回っている。

- ・漢字の読み書き
- ・登場人物の心情を情景描写を元に捉える問題
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む問題

- 短くまとめて答えたり、自分の考えを記述したりする問題が苦手な傾向

- ◇漢字やローマ字の読み書きなど基礎的・基本的な学習の定着を図り、日常的な活用を通して習熟を促す。
- ◇登場人物の行動や気持ちを考えながら読み取る学習の充実。
- ◇記述に沿って読み取り、内容を要約する力の習熟
- ◇自分の考えや気持ちを作文や短い文章にして表す指導の充実。
- ◇学習した漢字を日常的に使って文章を書く習慣をつける指導の充実。

【算数】

主として「知識」に関する問題（A）

- 「数と計算」の領域で、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「量と測定」「図形」「数量関係」の3領域で、全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

- 「図形」の領域は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数と計算」「量と測定」「数量関係」の3領域は、全国平均を下回っている。

- ・分度器を用いて角の大きさを求める問題
- ・直径の長さや円周の長さの関係について求める問題
- ・メモとグラフを関連づけ問題を解くための方法を記述する問題
- ・示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を記述する問題

- 短くまとめて答えたり、自分の考えを記述したりする問題が苦手な傾向

- ◇単位量当たりの大きさについての理解を深め、体験的な活動を通して習熟を図る指導の充実。
- ◇問題を筋道立てて考え、解答を導き出すための方策を順序よく説明する学習の充実

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【理科】

主として「知識」に関する問題・ 「活用」に関する問題

- 「物質」「エネルギー」の領域（A区分）で、全国平均を下回っている。
- 「生命」「地球」の領域（B区分）で、全国平均を下回っている。

- ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を表す言葉を選ぶ問題
- ・太陽の一日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ問題

- 「地球」（B区分）の領域が苦手な傾向

- ◇自然の事物・現象から問題を見いだして課題を設定する学習活動の充実
- ◇予想や仮説を立て、検証するための観察・実験を計画する学習活動の充実
- ◇観察・実験の結果を分析して解釈する学習活動の充実

【児童質問紙】

基本的な生活習慣から、家庭での生活、学習状況など多岐にわたる内容の質問があわせて実施されました。全国平均と比べて、本校児童の特徴となる項目を紹介します。

～全国平均に比べ下回っている項目～

- ◇家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ◇家で、学校の宿題をしている。
- ◇家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。
- ◇今住んでいる地域の行事に参加している。

～全国平均を上回った項目～

- ◇学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上読書をする。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）
- ◇放課後や週末に家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている。
- ◇放課後や週末に友達と遊んでいる。
- ◇テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む。）

<この結果から見えてくる本校の児童の傾向と今後の課題は>

- ◇新琴似西小学校の児童は…
 - ・読書の習慣が定着しており、ニュース番組を見ている児童も多い。
 - ・放課後や週末に友達と遊ぶことが多いが、ゲーム、テレビに時間を費やしている児童が多い。
 - ・家庭学習の習慣があまり定着していない。
 - ・地域の行事に参加することが少ない。
- ◇今後、特に育んでいきたい力は…
 - ・学習の大切さや意味を理解し、自ら意欲的に学習に取り組むこと
 - ・テレビやインターネットだけに頼らず、自らを高める活動に、意欲的に取り組むこと
 - ・地域や社会とのつながりを大切にしておくこと

などがあげられます。

この調査によって、本校児童の学力・学習状況のすべてが把握できたわけではありませんが、子どもたちの学力・学習状況の一側面を捉えることができたと考えています。また、6年生対象の調査ではありましたが、ここから見えてくる課題は、6年生だけのものではなく、全体の傾向であり課題であると捉え、全学年を通して指導方法の改善を図っていきます。家庭や地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。